

国民も、弁護士もメディアも

「戦争立法」に反対！

日本国憲法こわすな9条こわすな！

陸海空その他の戦力は持たずと、世界に宣言しました。その憲法を安倍内閣は踏みにじつて、自衛隊を海外に派遣し戦するものです。

①アメリカが世界のどこででもアフガン・イラクのような戦争をした場合、自衛隊が「戦闘地域」まで行って軍事支援を行うこと。「戦地」ですから自衛隊員は「殺し」「殺される」

②「停戦合意」されたが、なま取り組めるようになります。アフガンでの国際治安支援部隊などへも参加することに。

③日本が世界中のどこでも、ともに行動できる」と述べたことでも明白です。

④「停戦合意」されたが、なま取り組めるようになります。アフガンでの国際治安支援部隊などをへも参加することに。

⑤日本がどこからも攻撃されないで、集団的自衛権行使しアメリカの海外での戦争に自衛隊員が参加、武力行使できるようになることは政府が行うので、何ら歯止めにはなりません。

「日本が世界中のどこでも、ともに行動できる」と述べたことでも明白です。

②「停戦合意」されたが、なま取り組めるようになります。アフガンでの国際治安支援部隊などをへも参加することに。

③日本がどこからも攻撃されないで、集団的自衛権行使しアメリカの海外での戦争に自衛隊員が参加、武力行使できるようになることは政府が行うので、何ら歯止めにはなりません。

海外での戦争に自衛隊員が参加

③日本がどこからも攻撃されないで、集団的自衛権行使しアメリカの海外での戦争に自衛隊員が参加、武力行使できるようになることは政府が行うので、何ら歯止めにはなりません。

るためと言つて行われてきました。首相の言葉も同じです。
安倍内閣の戦争法案に地方新聞がいつせいに社説や論説で批判しています。信濃毎日など地方新聞の35紙が警鐘を鳴らし、国会での徹底審議を求めています。
「絶対に二度と戦争してはならない」と自民党元幹事長の野中さんは安倍内閣の動きを批判しています。閣議決定した14日には首相官邸、国会周辺、銀座など東京都心は、野中さんは安倍内閣の動きを批判しています。閣議決定した14日には首相官邸、国会周辺、銀座など東京都心は、「9条壊すな」「戦争法案を阻止しよう」などの声に包まれました。(次ページ)

「国際平和支援法案」と「平和安全整備法案」を、政府は「平和安全法制」とタイトルしました。その中身は平和どころか「アメリカが戦争すると、自衛隊が世界中のどこへでも

切れ目なく」参加する戦争立 法そのもので、戦後最悪の憲法破壊の法案です。

ご存じのように日本国憲法は前文で「政府の行為によって再び戦争の惨禍を起こさない決意」と9条で「戦争と武力による威嚇と行使を永久に放棄、

「戦力ではない自衛隊」日本だけ護る専守防衛自衛隊誕生の経緯。日本政府は、マッカーサーの指令で52年に「憲法の『戦力』ではない治安組織である」と警察予備隊を創設。54年には保安隊を「戦争目的ではなく警察上の組織。保安隊は近代戦能力は持たず戦力ではない」とし名前を変更。そ

して54年に自衛隊へと変貌。このとき政府は、ジエット機を含む近代戦争遂行能力を持つため「戦力とは自衛のための必要最小限度を超えるものの、自衛を超えない範囲であれば憲法は禁止せず日本が直接的に攻撃されたときに反撃する専守防衛。海外での武力行使は許されない」としてきました。

このことはカーター米国務長官が記者会見で、「新指針は地理的な制約がなくなった」

このことはカーター米国務長官が記者会見で、「新指針は地理的な制約がなくなった」

「若者を戦場に送らない」5月16日、街頭宣伝「若者を戦場に送らない」



私たちの反対の声を安倍首相にぶつけよう！
私たちも地方から、安倍政権への怒りの声をあげようではありませんか。首相や議員が戦場に行くのではありません。一度と戦争はしないと誓った私たちの声を安倍首相にぶつけようではありませんか。(米沢敏夫)

松代大本営跡 太平洋戦争末期に造られた極秘の要塞

ファンクラブでは、5月31日に松代にある大本営跡(象山地下壕)訪ねます。戦後70年、安倍内閣は「いつでもどこでも米軍支援・参戦できる戦争法」成立を強行しようとします。このような時、戦争末期に長野県で何が行われていたのかを知つておく必要があると思います。

昨年長野市が地下壕の案内板の「強制的に動員され」の部分にテープを貼り隠しました。現在は違う文言にしたようですので、どのようになっているか見ていきます。

松代大本営はどうして造られたか

サイパン陥落後、本土爆撃と本土決戦を想定し防衛

機能が弱いとされた東京から、本州の最も幅の広い所で、山に囲まれ固い岩盤を有する松代が選定されました。

主催 呼びかけ人と実行委員会事務局 戦争させない1000人委員会・信州、9条署名をすすめる会、憲法会議、護憲連合、県労組会議、県労連
大北・九条の会もバス2台で参加します。参加費1,000円です。希望者は米沢さんまで(62-5932)

NO!「戦争する国」生かそう!平和憲法 6.7県民大集会

日時 6月7日(日) 13:30~

場所 長野市旭町ひまわり公園(合同庁舎南側)

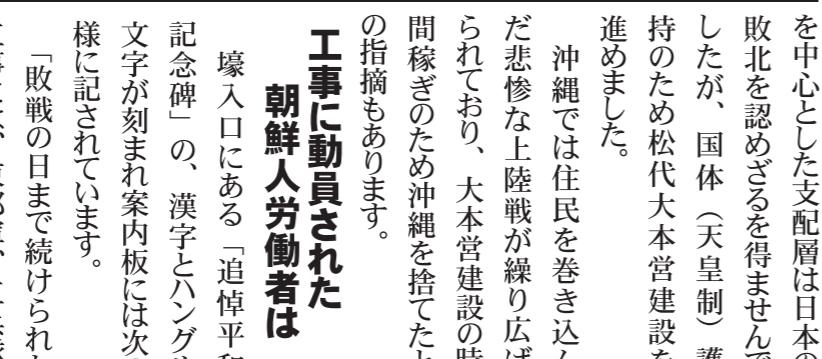
ミニ講演 むのたけじ氏

100歳の反戦ジャーナリスト集会終了後 市内パレード

主催 呼びかけ人と実行委員会事務局 戦争させない1000人委員会・信州、9条署名をすすめる会、憲法会議、護憲連合、県労組会議、県労連
大北・九条の会もバス2台で参加します。参加費1,000円です。希望者は米沢さんまで(62-5932)



松代地下壕跡入り口



朝鮮人労働者は工事に動員された

壕入口にある「追悼平和記念碑」の漢字とハングル文字が刻まれ案内板には次のように記されています。

「敗戦の日まで続けられた工事には、東部軍、工兵隊、産業・勤労報国隊や学徒・学生も多数動員されたが、

その後、事變にも置けることになり以後敗戦まで存続。

松代の地下壕には、宮城(皇居)、政府の諸官庁の主要部、日本放送協会など、天皇制国家を支える中枢機関をすべて移転させる計画でした。硫

黄島玉砕、東京はじめ全国で空爆が行われる中、軍部

に動員され、国民学校の児童は掘削によって出た岩くずの上に、木の葉や枝を覆い被せられたそうです。(牛越邦夫)

工事による地元の被害

約100人の地元住民の山林、桑畠、田畠が軍に買上げられ、道路・飯場が建設されました。工事が始まる

と昼夜間わずダイナマイトの爆破音がとどろき、人や畜の眠りは妨げられました。舞鶴山地下壕(天皇・皇

帝の御座所)建設に伴い、急に100戸以上の住民が制移転をさせられたと言います。資材運びやトロッコ押し